

H30 年度横浜市食の3Rきら星活動賞〈啓発部門〉

学校法人岩崎学園

横浜デジタルアーツ専門学校

【受賞理由となった主な取組】

本市で進めている、飲食店等の食品残さを削減する取組である「食べきり協力店」事業の認知度アップに向け、平成30年4月より授業の一環として、協働で新たなロゴマークやキャッチコピーの制作に協力いただきました。

制作に当たり、学生たちが自主的に「食べきり協力店」登録店舗の取組状況や課題の調査を行い、また、夏休み期間中も集まるなど、飲食店等がこの事業に参加した時のメリット等を考慮しながら、新たなデザインが提案されています。

デザイン案は、ロゴマークやキャッチコピー、ポスター、ステッカーなど、制作した数十点から絞り込んだ上で提案され、細かなデザインに意味を持たせるなど随所に工夫がされています。

特にキャッチコピーやポスターなどは、市民の皆さまに“外食時に食品ロスについて考えるきっかけ”となる、メッセージが込められています。

更に、「食べきり協力店」事業の認知度向上や啓発に繋がる動画の作成提案など幅広い内容となっています。

本市事業のPRや外食時の発生抑制をはじめとした食品ロスの削減に貢献する取組となっています。



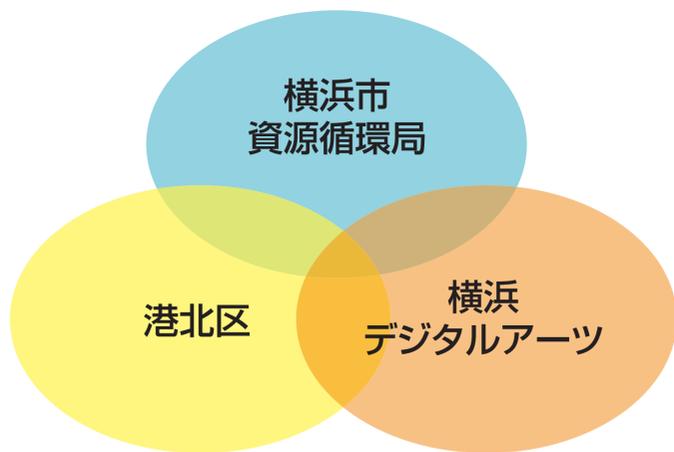
<ポスター制作準備

横浜市資源循環局×横浜デジタルアーツ専門学校 食品ロス削減PRプロジェクト

3年総合デザイン科 上谷 瑞穂/喜代門 枝見佳

2年グラフィック科 田中 結菜/柏木 真美/2年総合デザイン科 渡部 航朔/永富 千昭

食品ロス削減PRプロジェクトとは??



横浜市が進めている廃棄される食品を減らす取り組みの一つ「食べきり協力店」。食べきりという言葉が誤解を与えることや従来のポスターやPOPでは置いてもらえない店舗もあるということで、事業名・キャッチフレーズ・ロゴなどをリニューアルするプロジェクトとなっています。

事前調査

事例研究では過去に類似した事例がないかを調査し、その中から取り入れたら効果的な宣伝や広告が出来るような要素を探しました。

フィールドワークでは実際の協力店に行き、ポスターやPOPの設置状況を聞いたところ、協力してる店舗はあったが理解してない店舗が多数ありました。その意見を聞きどのようなデザインにするべきかを考えていきました。



フィールドワーク



事例研究

プレゼン

プレゼンではそれまでの制作物や調査の内容などを発表と報告を兼ねたものとしてプレゼンを行いました。

プレゼンの様子の一部



発表した制作物の一部



決定案 プレゼンを経て決定したのが下記の案です

ロゴ



ポスター1



ポスター2



シール



表彰式



小林副市長と記念撮影



記念楯

